

地域密着型サービス評価の自己評価票

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.理念に基づく運営			
1.理念と共有			
1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らし暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	自分らしい生活・利用者の尊厳を保った生活の支援・家庭的なふいん気で安らいだ生活をの3つの理念を元に毎日サービスを行っています	
2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念を事務所・廊下に掲示し、いつでも目につくようにしている。	
3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	二ヶ月に一度運営推進会議を行い、地域の方家族に参加してもらっている。	再度、理念確認し、認識を再確認し、取り組んでいきたい。
2.地域との支えあい			
4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	推進会議への出席、秋祭りへの参加などにより、お付き合いの輪を広げていっている。	声かけは少しずつしているが、気軽に立ち寄ってもらえるような雰囲気を作っていきたい。
5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	中学生の訪問、市の介護教室の実施等で、交流の場を広げている。	積極的に参加できるよう努めていきたい。秋祭りやその他、行事等実施する場合には、近隣への積極的な声かけ、ポスター等の掲示を行い参加してもらえよう努めていきたい。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	<p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	<p>推進会議で出席されている老人会、民生委員の方々など近況報告などをして情報提供し、役立てていただいている。</p>		<p>今後、老人クラブ等での介護に関する講演など検討していきたい。</p>
3.理念を实践するための制度の理解と活用				
7	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>評価等は、事務所内に掲示し、職員全員が必ず目を通すようにし、またそれについて、話し合う機会を設けている。</p>		<p>評価項目を職員一同理解し活用し達成していける様、取り組んでいきたい。</p>
8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議での意見は、サービス向上に活かしている。</p>		
9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者や運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>市町村担当者が、月に1~2回来館され、状況を見学され、意見交換を行い、サービス向上に取り組んでいる。</p>		<p>担当者から指摘された事に関しては改善していく様になっている。</p>
10	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>講演、研修会などに参加し、学ぶ機会はあるが、成年後見制度など、該当する人は、今はおられない。</p>		
11	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>虐待の防止はスタッフ間では、徹底しており、注意を払い防止に努めている。</p>		<p>利用者への言葉遣いや接し方では、職員一同、気をつけ接している。</p>

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4.理念を实践するための体制				
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだし解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>納得されるように、十分説明を行い、不安を解消されるように努めている。</p>		
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>どんな、ささいな事でも、意見、不満は聞き逃さず声かけをして運営に反映させている。</p>		<p>利用者が想っている事を何でも言える様な、利用者との信頼関係を作っている。</p>
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>利用者の暮らしぶりや健康状態等は、定期的及び個々に合わせた報告をしている。(利用者への面会に来られた時など)</p>		
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族等とコミュニケーションを深めるように努め、会話の中にも、サラッと意見、不満などを出してもらえるように、普段から注意している。意見があれば運営に反映させている。</p>		
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>ミーティングを開き意見、提案を聞く機会を設け反映させている。</p>		
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>柔軟な対応ができるよう調整に努めている。</p>		
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>異動はなく離職も今まであまりなく馴染みの職員が多い。代わる場合はダメージを防ぐ配慮をして声かけを行なっている。</p>		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5.人材の育成と支援				
19	<p>人権の尊重</p> <p>法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようしている。また、事業所で働く職員についても、その能力を發揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している</p>	<p>職員の募集、採用にあたっては、性別、年齢等を理由に採用対象から排除する事はなく職員の権利は、十分保証されている。</p>		
20	<p>人権教育・啓発活動</p> <p>法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる</p>	<p>人権教育等には、常日頃より取り組んでいる。</p>		
21	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>職員に対して研修会、講演などの資料をとり育成の為、呼びかけ、参加を促がしトレーニングしていく事を進めている。</p>		
22	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>月に1度行なわれる、グループホーム部会には必ず参加して良い部分は参考にしている。</p>		
23	<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>食事会等で意見、悩み事を聞いてストレス発散に努めている。</p>		
24	<p>向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>状況を把握して、向上心を持つよう、ねぎらいの言葉をかけたリ、誉めたりして、向上心を持って働けるように努めている。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1.相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
25	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>声かけ、傾聴をこまめに行い、本人の要望など聴き、本人が納得できる様に配慮している。</p>	
26	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>家族、本人と面談を行い、信頼関係を作り、受け止め、実施している。</p>	
27	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>優先順位を考え、利用者、家族等が安心して生活できる様配慮している。</p>	
28	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気になんげに馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>家族等と相談しながら、安心してサービスを利用されるよう工夫、努力している。</p>	<p>グループホーム等利用されたい方には、ショートステイを取ってもらい、場に馴染める様にしている。</p>
2.新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
29	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>利用者の尊厳を重視し、一緒に過ごしながらか、スタッフが学び支えあう関係を築いている。</p>	<p>利用者を尊い尊重し、共に教えあえる様な利用者との関係作りを築いている。</p>

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
30	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	何事にも、家族と共に利用者を支えて行けたらと考えている。		
31	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるよう支援している	今までの家族と利用者との関係を把握し、より良い関係を築かれるよう声かけ、意見交換を行なっている。		
32	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう支援に努めている	面会も自由に行なわれ、外出等も事前に申し出があれば出来る為、馴染みの人などの関係も継続されている。		
33	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わら合い、支え合えるように努めている	利用者同士の関係を把握し、一人一人が孤立しないよう注意して見守りを行なっている。		例えば、帰宅願望の強い利用者に対して、他に利用している方が「一緒にテレビ観て待ちましょう」と声かけしたりしてくださっている。
34	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	必要とされる事がであれば、終了しても継続的な関係は大切にしている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1.一人ひとりの把握			
35	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>一人一人の思いや希望、意向は十分理解して把握に努めている。</p>	
36	<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>本人、家族とも面談を行い、詳しく話を伺い今までの暮らし振りを把握に努めている。</p>	
37	<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>日常生活の観察、家族からの情報収集を行い、個人の残存機能を把握し快適な生活を過ごしてもらえるように努めている。</p>	
2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
38	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>本人、家族、関係者らと話し合い、意見、アイデアをうかがい介護計画に反映させている。</p>	<p>個人に合ったケア書を作成し、よりよく過ごしてもらうために配慮している。</p>
39	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>対応できない変化が生じた場合は、現状に即した新たな計画を作成している。</p>	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
40	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践 結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別の記録を毎日付けている為、その中に日々の様子、ケアの実践 結果、気づきや工夫などを記入して毎日の申し送り情報で伝え、介護計画に活かしている。		
3.多機能性を活かした柔軟な支援				
41	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	必要性、要望に応じて、病院、ショートステイなど機能を活用し、本人、家族への支援配慮を行なっている。		
ケア				
42	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	必要に応じて、警察、消防等と協力しながら支援していく。		
43	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	集会、会合にて情報交換等は、行なっている。		
44	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	本人の意向、必要性に応じて、地域包括支援センターと協働している。		
45	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人、家族が安心して、医療を受けられるように、かかりつけ医と事業所の関係を保てるように支援している。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
46 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり利用者や認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	職員が相談したり、利用者の診断、治療を受けられるよう、医師と関係を築いていくよう支援している。		
47 看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	利用者をよく知る看護職員とは、気軽に相談し、健康管理、医療活用の支援をしている。		
48 早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	安心して治療を受けられるよう、病院関係者との情報交換、相談に努めている。普段より連携している。		
49 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	早い段階から、本人、家族等、医師と話し合い方針を共有している。		
50 重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	医療機関と話し合い、協力し、一丸となって支援に取り組んでいる。		
51 住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移住する際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、ダメージを防ぐ事に努めている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1.その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
52	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>利用者の気持ちを尊重し、相手の気持ちに立つて、思いやりがある。言葉かけや対応を行なっている。記録等も、スタッフの目の届く所に管理している。</p>	<p>言葉遣い、相手への尊重を重視し、尊敬の意を持ちコミュニケーションを図っている。また、個人情報も注意して取り扱っている。</p>
53	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたりわかる力に合わせた説明を行い、自分で決めた！納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>利用者に必ず希望を確認し、納得されてから行なうように努めている。</p>	
54	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>利用者一人ひとりのペースを大切に、希望を聞き、職員側の都合を優先することなく、その人らしい暮らしができるよう支援している。</p>	
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
55	<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>希望される方には、その店まで送迎を行い、それ以外の方には、訪問理容を利用してもらっている。又、訪問理容は複数店を利用してもらうようにし、希望に添えるようにしている。</p>	
56	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>利用者職員はいつも一緒に食事をしており、食事の後片付け、準備等も利用者の方と一緒に進んでいる。</p>	<p>調理(切る、盛り付ける)が好きな方はそれらをしてもらい、以前行っていた事を再実践してもらうようにしている。</p>
57	<p>本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	<p>好物など家族からの差し入れもあり、その方の状況に合わせて、喜んでいただけるように支援している。</p>	<p>買い物時にも、本人が好む物があつた場合には、要望を聞き買ってくるようにしている。</p>

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
58	<p>気持よい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>	<p>一人一人の排泄のパターンを把握し、定期的にトイレ誘導を行い、気持ちよく排泄できるよう支援している。</p>		
59	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>入浴は、曜日や順番を決めており、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、他の利用者から、苦情がでる事が有る為、なかなか希望通りとまでいかない所がある。</p>		<p>利用者の方がもっと入浴を楽しむ事ができるよう、希望に添えるよう話し合っている。</p>
60	<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>	<p>一人ひとりの生活習慣に合わせて、昼寝をされたり、リビングのソファに腰掛けゆっくりとお茶を飲まれたりされている。</p>		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
61	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>一人ひとりに役割があり、食事の手伝いをされたり、掃除や、洗濯物をたたまれたり、趣味の俳句や、本を読まれたりと、楽しんで生活を送られている。</p>		
62	<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>自己管理でお金を持ってある方、スタッフが管理してある方とさまざまだが、希望をうかがい、買い物等にも出かけている。</p>		<p>ダイソー等への買い物を行なっている。</p>
63	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>バスハイク等で、月二回程出かけている。各自、希望があればスタッフと買い物に出かける事もある。リハビリ希望の方も多く、病院へスタッフと出かけられる。</p>		
64	<p>普段行けない場所への外出支援</p> <p>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり支援している</p>	<p>利用者の希望を聞き、行きたい所など、毎月の行事予定の中にいれ、バスハイクとして出かける機会を作っている。</p>		<p>外出は利用者の希望に添えるよう配慮している。</p>

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
65	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり手紙のやり取りができるように支援をしている	電話をしたい時に電話ができ、手紙のやり取りも職員が支援して行なっている。		
66	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	友人、知人の方など気軽に訪問されており、リビングのソファや自室にて楽しく雑談されている。		
(4)安心と安全を支える支援				
67	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	全ての職員が理解しており、身体拘束は一切行なっておらず、しっかりと取り組んでいる。		
68	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	全ての職員が、鍵をかけることの弊害を理解している。何人かの利用者が、帰宅願望があり、突如、外に出て行こうとされる事がある為、その日に応じて鍵をかける事がある。		なるべく鍵を使用しない生活空間を作っていきたいと考えている。徘徊される利用者には見守りを実施し、ケアに努めている。
69	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	職員が利用者が行動される場所（リビングなど）に必ずおり、安全配慮に注意している。夜間帯も異常ないか巡回し確認している。		
70	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	危険を与える物品は戸棚に置いたりして、必要に応じ、そこから出して利用者に使ってもらうようにしている。		
71	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	事故防止の為、必ず確認・見守りを行い、最悪の事態等、招かない様、細心の注意を払い日々のケアに努めている。		誤薬起こさない様、徹底した確認、手渡し、夜間のトイレ覚醒等は見守りを行なっている。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	定期的とまではいかないが、看護師による勉強会を受けている。		定期的に勉強会を行なうよう取り組んでいきたい。
73	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年1～2回は、火災訓練を行っており、災害時における避難、対処方法は身につけているが、地域の方々への働きかけまでは出来ていない。		地域の方々の協力を得られるよう 普段から交流を深め、働きかけていきたい。
74	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	利用者の危険リスクをスタッフも考え、家族にも説明し、それを起こさない様、病院と連携し合い、安全な生活を送ってもらえるよう配慮している。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
75	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	週に一度は、スタッフがバイタルチェックを行い、記録をしており、体調の変化や異変には、スタッフ一人ひとりが速やかに対応できている。		
76	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の目的、用法・用量については理解している。服薬は、自分で管理できる方は管理されており、管理できない方には、スタッフが手渡しして、確認に努めている。		
77	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	毎朝、体操を行い、身体を動かす取り組みを行っており、食事なども、便秘などにならないよう工夫している。		
78	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	自分で出来る方には、声かけして支援を行い、出来ない方は毎食後、スタッフがうがいなど、口臭ケアの介助を行っている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
79	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通して確保できるよう一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食べる量に関しては、食事摂取チェック表で食事がどの位入っているか一目で分かり水分摂取は自分でうまく出来ない方は、水分量のチェックをして支援している。		
80	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	インフルエンザの予防接種は毎年行なっている。他の感染症に対しても、勉強会に参加し対応策など学んでいる。		
81	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	買い物し終わった食材(生鮮食品等)はすぐに冷蔵庫等に保管し、使用期限内に使い切る様に、新鮮さを考慮し、また衛生管理にも気を付けている。		
2.その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
82	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関まわりは、植木や花がたくさんあり家庭的な感じがでており安心して出入りしてもらえるよう工夫している。		
83	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないよう配慮し生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用の生活空間は広々とし、装飾、設備も、家庭的で居心地のよい感じになっている。		
84	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングのソファーや、ベランダなどで気の合った利用者同士、仲良く過ごされている。		自由な空間を維持しており個人一人ひとりが過ごされている。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
85	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は、本人さんが昔から愛用されてある、タンスや仏壇など置かれたり、家族とも相談し本人が居心地よく過ごせる空間になっている。		
86	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	定期的に窓を開け換気に努め、スタッフが利用者個々の状況に応じて、室温調整をこまめに行っている。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
87	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	建物内は、利用者が安全に生活できるよう手すりが必要所に付けられ、洗面台、トイレ、浴室など、利用者に使いやすい設置されている。		
88	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	利用者一人ひとりの能力に合わせ、生活の支援を行い、利用者の人格を尊重し、言葉かけや、介助を行なっている。		
89	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり活動できるように活かしている	外周りやベランダには、椅子を置き、利用者がそこで雑談をされ、植木や花を観賞して過ごされている。		

.サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
項 目			
90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の	
		利用者の 2/3 くらいの	
		利用者の 1/3 くらいの	
		ほとんど掴んでいない	
91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある	
		数日に 1 回程度ある	
		たまにある	
		ほとんどない	
92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の 2/3 くらいが	
		利用者の 1/3 くらいが	
		ほとんどいない	
93	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の 2/3 くらいが	
		利用者の 1/3 くらいが	
		ほとんどいない	
94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の 2/3 くらいが	
		利用者の 1/3 くらいが	
		ほとんどいない	
95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の 2/3 くらいが	
		利用者の 1/3 くらいが	
		ほとんどいない	
96	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の 2/3 くらいが	
		利用者の 1/3 くらいが	
		ほとんどいない	
97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と	
		家族の 2/3 くらいと	
		家族の 1/3 くらいと	
		ほとんどできていない	

グループホーム ゆらり館

項 目		最も近い選択肢の左欄に つけてください。	
98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように	
		数日に1回程度	
		たまに	
		ほとんどない	
99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている	
		少しずつ増えている	
		あまり増えていない	
		全くない	
100	職員は、生き生きと働いている	ほぼ全ての職員が	
		職員の 2/3 くらいが	
		職員の 1/3 くらいが	
		ほとんどいない	
101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の 2/3 くらいが	
		利用者の 1/3 くらいが	
		ほとんどいない	
102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が	
		家族等の 2/3 くらいが	
		家族等の 1/3 くらいが	
		ほとんどできていない	

【時に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

- ・病院併設のグループホームで院長も入居者の状況を細かく把握しておられ、24時間緊急時にはすぐ対応出来る。
- ・個々を尊重し自由に過ごしてもらえる空間作りに力を入れている。また、家庭的な雰囲気を中心とし、職員との信頼関係も大切に、共に学び、楽しく過ごせる様配慮している。そして、危険リスク(転倒など)起きない様声かけなど十分に行なっている。